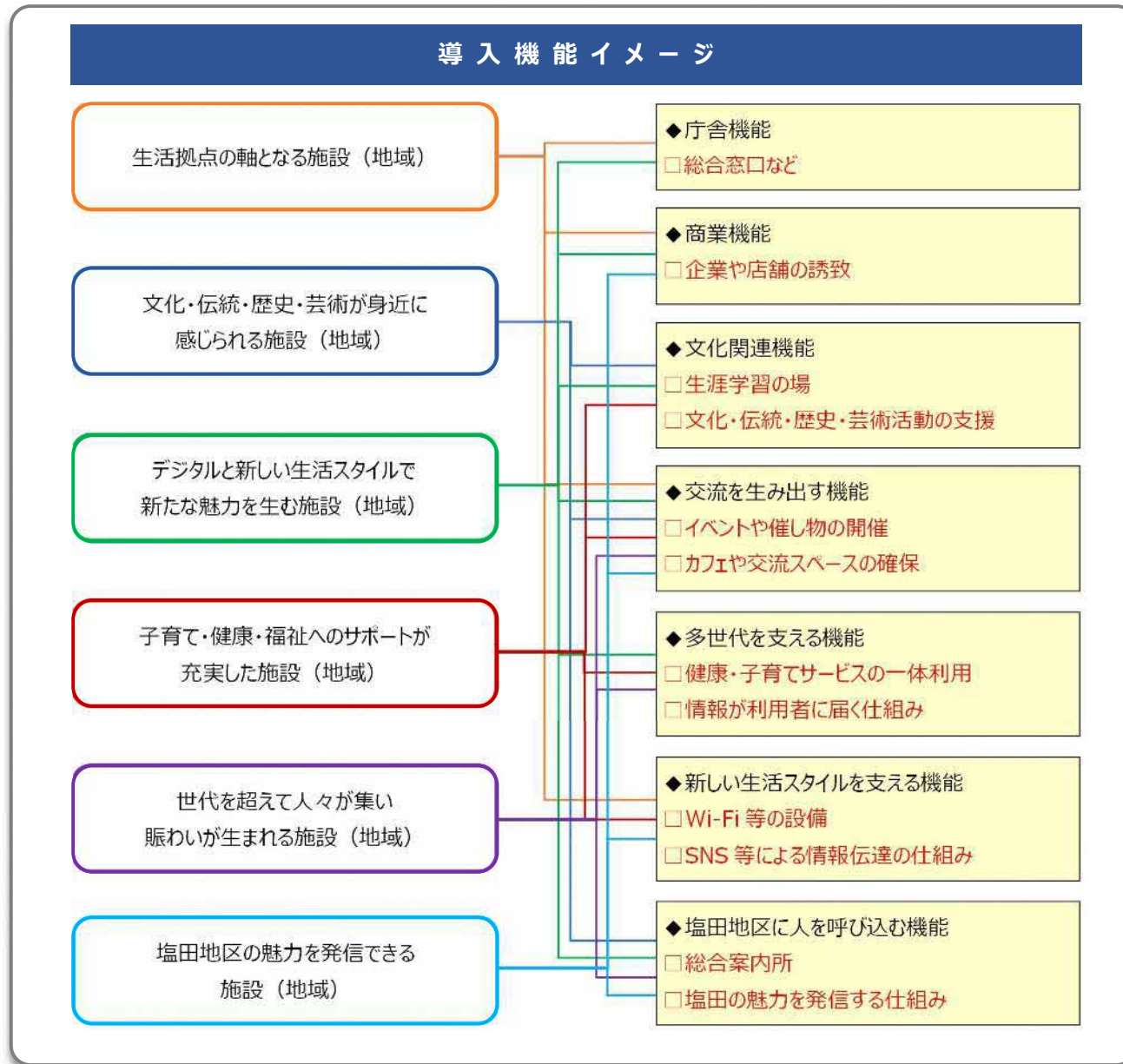


## 【導入機能イメージ】

基本構想において導入の対象とする機能のイメージについて、コンセプトを踏まえ以下に示します。

ここでは公共と民間の別なく、施設として導入が想定できる機能を例示し、今後の市場調査等を踏まえ、公共機能と民間機能の区分を今後示していきます。



## 【基本計画に向けて】

基本構想では、市民の意見を踏まえ、塩田庁舎等利活用の基本理念やコンセプトや必要な機能についてとりまとめました。今後は、利活用の具体化や実現に向けた事業化の検討を踏まえ、塩田庁舎等利活用における諸室・設備の概要や施設の運用方針、提供サービスの概要などを基本計画としてとりまとめていきます。

基本計画の検討については、塩田庁舎及び周辺公共施設の一体的な整備に加え、リバティや楠風館など類似・代用機能を持つ施設も含めた総合的な機能再編の検討も必要であることから、行政だけではなく民間活力の導入による事業の検討なども重要となってきます。これらのことから、塩田庁舎等の利活用では民間事業者との対話を重ね、そのアイデアやノウハウ、資金を活用することによるサービスの向上やコストの削減など、公民連携という事業手法についても視野に入れていきます。



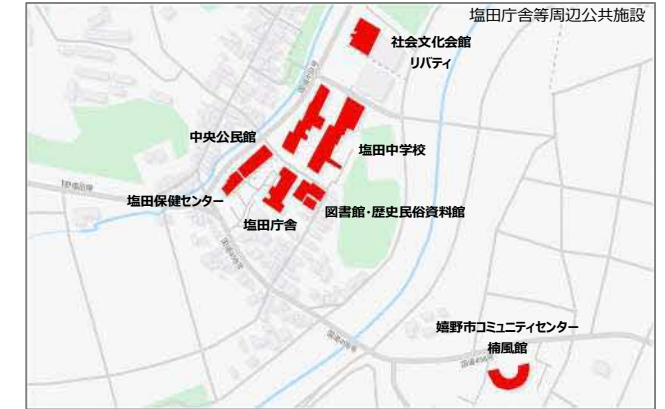
【問合せ先】  
嬉野市 総合戦略推進部  
企画政策課

849-1492  
佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲 1769 番地  
TEL:0954-66-9117  
E-mail : kikaku@city.ureshino.lg.jp

# 嬉野市塩田庁舎等利活用基本構想 概要版 (案)

## 【基本構想の目的と経緯】

嬉野市では、塩田庁舎及び周辺公共施設の利活用を行い、行政サービスをより便利にしていくとともに、地域の活性化につながるための各施設の役割について、行政と住民が一体となって、塩田庁舎等を塩田地区の中核拠点として利活用の取り組みを検討し、将来に向けて夢のある地域づくりのビジョンと、ビジョンを具体化するための理念・方針等を示すことを目的とした、「塩田庁舎等利活用基本構想」を策定しました。



## 【基本構想の位置づけ】

基本構想は、「基本計画」、「基本設計」及び「実施設計」へとつながる最も基本となる、理念・方針を定めるものです。

### 基本構想 (令和5年度)

#### 塩田庁舎等利活用について、その理念・方針の定義

【決定すべきこと】

- 塩田庁舎等の利活用のコンセプト（理念・方針）
- 塩田庁舎等周辺地区の利活用イメージ
- 塩田庁舎等の必要となる機能

#### 基本計画

基本構想に基づいた、塩田庁舎等利活用における、施設ごとの機能・配置計画

#### 基本設計

塩田庁舎等利活用に向けての施設構成、配置計画、諸室機能、運営方針及び概算事業費の検討

#### 実施設計

塩田庁舎等利活用施設の設計、工事数量算出及び実施事業費の算出

## 【関係者意見の把握】

### 市民アンケート及び中学生アンケート

市民が集う地域交流拠点としての活用をテーマに、塩田庁舎の利活用や庁舎周辺の将来像などについて、塩田地区の全世帯の世帯主及び同居のご家族に多くの幅広い意見をいただきました。

また、塩田中学校に通う生徒を対象に、塩田庁舎及び周辺施設の利用状況や、塩田で取り組むべきイメージ、塩田庁舎等の利活用などについての意見をいただきました。



### 市民ワークショップ(計3回開催)

塩田庁舎及び周辺施設の利活用の方向性や、各施設が持つ機能の再編・集約による充実したサービスやにぎわいづくりの創出などについて考えることを目的として、市民ワークショップを実施しました。

ワークショップの参加者は、多世代の意見が反映できるように、「子育て」「健康」「中高生」「文化・伝統・芸術」「にぎわい創出」「地域交流」などテーマに4つのグループに分類し、26名の市民に参加していただきました。



## 【基本理念】

基本理念とは、塩田庁舎及び周辺施設の利活用に取り組む上での基本的な考え方(テーマ)を表現したものです。市民・中学生アンケート及びワークショップで把握した意見などの施設整備にあたっての基本的な考え方を踏まえ、行政機能の継続や教育、賑わい、福祉、観光などについて、それぞれの視点ごとに、そのあり方を整理して基本理念を設定しました。

なお、「人と人がつながり、つながりつづけていく地域」というキーワードは、市民ワークショップの意見から採用しています。

### 基本理念

## 人と人がつながり、つながりつづけていく地域 塩田地区の新たな賑わいの創出

### 生活の頼りとなり、日常的にひとが集まる「つながり」・「賑わい」

行政サービスの充実や、さまざまな情報発信とイベントスペースの創出により、多くの人を呼ぶことができる施設・内容を目指します。

### 憩い・交流の場としての「つながり」・「賑わい」

塩田地区内に、ほっとできる憩いの空間として整備し、子どもから高齢者まで、多世代の人々の交流を促進する機能を目指します。

### ひとや文化を育む拠点としての「つながり」・「賑わい」

塩田地区の歴史・伝統との連携や、文化・生涯学習施設、多彩な文化事業のほか、市民の生涯学習活動にも対応した施設とすることを目指します。



## 【施設整備にあたっての基本的な考え方】

塩田庁舎をとりまく概況やアンケート及びワークショップ結果による市民意見と、一般的に必要な機能などの技術的な視点による基本的な考え方、まちづくりの課題などを整理し、塩田庁舎等の利活用の方向性について、「地域の構成要素の一つとして捉え、多くの人が集まり交流するような賑わいをつくることが重要」と整理しました。

### 現状から見える課題の整理と対応

- 行政窓口機能は、より質の高い行政サービスを検討
- 子どもの遊び場や学習の場など、子どもたちが集える空間整備を検討
- 多様化する交流機会の創出を検討
- イベントや催し物などの機会を増やし、施設自体の利用促進を検討
- 生活利便性の向上のために売店等の併設を検討
- 避難所機能の充実を検討
- 財政負担の軽減を図るための、施設機能の複合化・多機能化による施設サービスの向上を検討
- 地域住民の高齢化に伴うコミュニティ活動の低下や市民ニーズの変化に対応した公共施設サービスを検討
- 耐震性の問題など、十分な施設サービスを提供できていないことが懸念される施設の解決策を検討
- 多世代の市民が気軽に集え・利用でき、コミュニティ活動の場・情報交換の場となる施設として整備を検討
- 自動車を交通手段とする利用者が多いことから、駐車スペースや駐車台数を考慮して検討
- 市の情報発信と併せて地域課題を解決するきっかけとなる拠点としての整備を検討



## 【基本方針及びコンセプト】

長い間市民に親しまれている塩田庁舎及び周辺施設の活用の基本方針として、近隣の住民の生活拠点のよりどころはもとより、他市からの来訪者呼び込みするような空間とし、子どもから高齢者まで、多世代の人々はその空間で憩い・交流することを中心とした「つながり」・「賑わい」を創出するものとして、4つの視点で整理しました。

### 基本方針

#### 気軽に「集う」「憩う」場を目指します

個性ある塩田の文化を「創り出す」「発信する」場など

#### 多様な生涯学習を通じて「学ぶ」「育む」場を目指します

市民の学びを育み、地域の課題解決等に寄与する場など

#### バリアなく「出会う」「触れ合う」場を目指します

物理的・心理的バリアを取り払い、住民ひとりひとりが地域の一員として支え会える場など

#### 未来につながる文化・伝統・歴史・芸術の担い手を「育てる」「継承する」場を目指します

市内の文化・伝統・歴史・芸術関係の団体や部活動のスキルアップの場など



また、塩田庁舎等を利活用する上での新たな役割や機能について、「どのような施設づくりをすべきか」という視点で6つの項目をあげ、基本コンセプトとして整理しました。

## 新しい施設(地域)整備にあたっての基本コンセプト 地域の魅力が創出され、世代を超えた地域交流拠点

### 生活拠点の軸となる施設(地域)

各種拠点機能を持たせ、常時利用者が出入りし、賑わいや魅力が創出される中枢拠点として施設(地域)を目指します。

### 文化・伝統・歴史・芸術が身近に感じられる施設(地域)

塩田津を中心に、住民に趣味等の気軽な楽しみ方や日常生活を充実させることができる「居場所」と思われる塩田地区の中心的施設(地域)を目指します。

### デジタルと新しい生活スタイルで新たな魅力を生む施設(地域)

各施設へのWi-Fiの設置やSNSなど、様々な情報伝達手段の活用により、行政情報などが利用者に届く仕組みや利用しやすい施設運営に取り組み、新しい生活スタイルを支える魅力ある施設(地域)を目指します。

### 子育て・福祉へのサポートが充実した施設(地域)

子育て世代、高齢者及び障がい者等への支援サービスの充実を図り、いつでも気軽に訪問できる施設(地域)を目指します。また、健康・子育て支援など、利用者同士の情報交換や交流を促進する機能を目指します。

### 世代を超えて人々が集い、賑わいが生まれる施設(地域)

共用スペースを中心として各機能を配置することで、子どもから大人までの市民が顔を合わせられる施設(地域)を目指します。

### 塩田地区の魅力を発信できる施設(地域)

塩田津の文化・歴史をはじめ、長崎街道や志田焼など塩田地区の魅力を発信し、市外から多くの人を呼び込むことや移住促進につながる情報を発信できる施設(地域)を目指します。

